

## 7. 計画検討の進め方

### (1) 計画検討全般

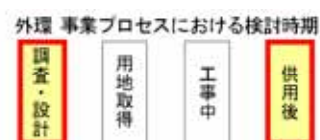
- ① 外環の整備効果が十分発揮されるのかとの懸念
- ② 人口動向等を踏まえた将来の交通量に合った計画となっているのかとの懸念

○これまでに頂いた意見

- 東名以南が延伸されないまま東名ジャンクションが整備されるとジャンクション周辺の道路が渋滞すると思われ、それらが生活道路へ影響を及ぼすことが心配なので、人口動向や生活道路での将来的な広域的、多角的な交通量調査をすることが重要である。
- 古いデータで計画された事業を実施することに懸念があるので、最新の交通量データにより見直し、設計に反映できるようにする。

(国)

- 外環は、沿線地域をはじめ首都圏全体として、交通渋滞や環境の改善、経済効果、都市再生に果たす役割等から、その必要性は高いと考えています。
- 今後、平成17年の道路交通センサスや新たな人口推計等の最新データをもとにした新たな交通需要推計による整備効果の検討や外環開通後の効果の調査結果などについて、丁寧かつ正確な情報提供を実施します。

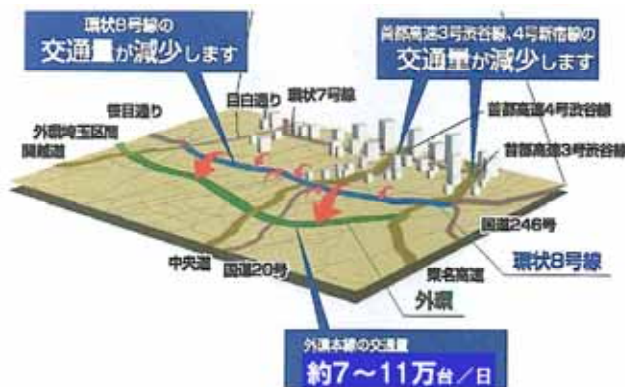


参考:整備効果

外環の整備により、様々な効果が期待できます。なお、平成17年度の道路交通センサスや新たな人口推計等の最新データをもとにした新たな交通需要推計による整備効果については、とりまとまり次第公表します。

1. 時間の短縮・渋滞緩和

外環を含めた幹線道路ネットワーク整備が概ね完了することで、都心に用いない車がバイパスされ、都心に集中していた交通が分散されます。特に環状8号線や首都高速3号渋谷線、4号新宿線等を利用していた通過交通が外環に転換することで、これらの道路の渋滞緩和が期待されます。また、所要時間の大幅な短縮が見込まれ、目的地までのスムーズな移動が可能になります。



首都高速3号渋谷線、4号新宿線の交通量  
全体の交通量 → 約2割減

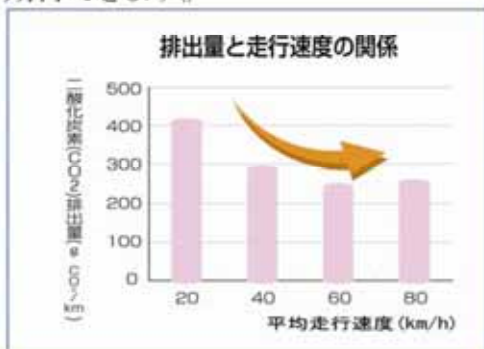
環状8号線の交通量  
全体の交通量 → 約1～2割減  
大型車の交通量 → 約3割減  
通過交通 → 約8割減



2. 環境の改善

現在の都心部は慢性的に渋滞しているため、自動車が低速で走行していることから、より多くの排出ガスが発生していると考えられます。

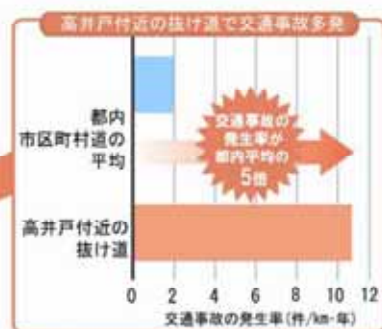
外環の整備により、都心に集中していた交通が分散され、通過交通が減少し、環状8号線や首都高速3号渋谷線、4号新宿線等の慢性的な渋滞の緩和が見込まれています。また、首都圏の交通の流れがスムーズになり、走行速度が向上するため、排出ガスの大幅な削減が期待できます。



### 3. 生活道路の安全性の向上

都心の渋滞を避けるため、抜け道に通過交通が流入し安全性が低下しています。例えば、環状8号線に並行する生活道路では、交通事故の発生率が都内平均の5倍になっています。

外環が整備されると、生活道路では通り抜け自動車が減少し、安全性の向上が期待できます。



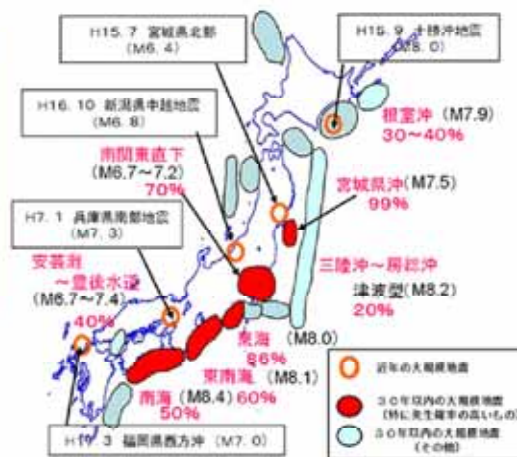
資料：首都圏第3次渋滞対策プログラム  
世田谷区資料 杉並区資料  
交通事故統計年報(平成9,12年度版)  
道路統計年報(1998年,2001年)



杉並区富士見ヶ丘駅付近

### 4. リダンダンシーの確保

外環の整備により、首都圏直下地震等の大規模地震など災害発生時の避難や救助、その後の復旧活動において、安定した交通確保が可能となります。



最近の大規模地震と、今後30年以内の発生が予想される大規模地震

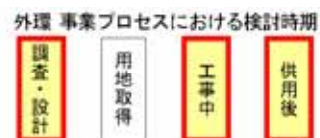
③ 地質や地下水などの調査が不足しているのではないかとの懸念

○これまでに頂いた意見

- 完成後に環境が変化するのは明らかで、住民の強い関心事でもある。変化を見るためには物差しとなる建設前のデータをしっかり取る必要があり、調査地点や回数を増やし、納得のいくデータを示してほしい。

(国)

- 今後、詳細な検討を実施する際に、必要な地質調査や井戸調査など詳細な調査を実施していきます。



④ 長期的に見てコスト面で無駄がないなど、適切な計画となることへの期待

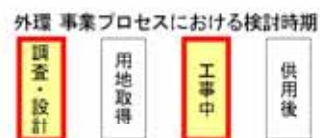
⑤ 最新の技術が活用されることへの期待

○これまでに頂いた意見

- 税金の無駄遣いによる利用料の高騰など、長期的に見てコスト面で無駄のないように十分検討してほしい。
- 最新の技術を駆使することを期待する。

(国)

- 今後、新技術の適用や効率的な施工について検討するとともに、大規模工事のメリットを反映できるよう、事業化前、設計、工事などの各段階でコスト改善に向けて努力をしていきます。また、技術開発の動向を踏まえ、最新技術の適用について検討していきます。



(2) 意見反映

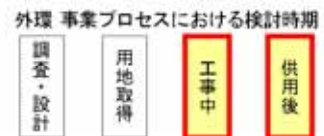
① 工事中や供用後の環境悪化等の問題が生じた場合の対応への懸念

○これまでに頂いた意見

- 工事中・供用後のモニタリングを徹底し、何らかの影響が出た時にすばやく対応が取れるように、また、住民に情報提供・情報開示されることで住民の不安に応える。

(国)

- 環境影響評価書に基づき事後調査を行い、その結果については地域のみなさまに情報提供を行います。なお、供用後に、現段階で予測し得なかった著しい影響が見られる場合には、迅速な情報提供を行うとともに、環境に及ぼす影響について調査し、世田谷区など関係機関と調整し、必要な対策を検討、実施します。



② 地域課題検討会での意見が計画に反映されないのではないかとの懸念

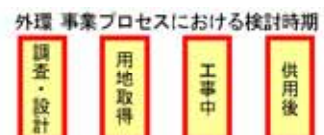
③ 外環が整備された後もPIを継続することへの期待

○これまでに頂いた意見

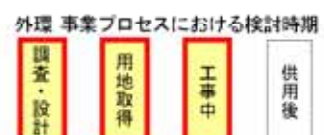
- 検討会終了後も連絡窓口や情報提供、住民が疑問を聞ける場を作って欲しい。
- 事業を進める際には、早い段階から行政と住民との話し合いを行う必要がある。

(国)

- 地域課題検討会をはじめ、地域のみなさまから頂いたご意見を踏まえ、「対応の方針(素案)」をとりまとめました。今後は、詳細な検討の各段階で、引き続きPIの手法を取り入れ、地域のみなさまの意見を聴きながら、具体的な検討を実施していきます。



- 事業の概要や用地補償、工事の内容などについて、各段階で地域の方を対象とした説明会を実施します。また、地域のみなさまの意見を十分に聴くとともに、必要に応じて有識者の意見も聴きながら、具体的な検討を実施していきます。



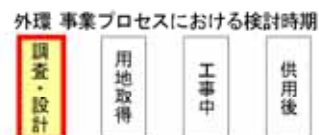
④ ジャンクション構造などを複数案提示し、住民の意見を聴くことへの期待

○これまでに頂いた意見

- ジャンクションの構造を複数案示して意見を聞いて欲しい。

(国)

- ジャンクション構造については、現地の状況を把握するための測量や詳細な検討を行うための地質調査を実施し、その結果及び検討会で頂いた意見などを踏まえ、地域への影響が小さくなるようジャンクション構造の技術的な検討を実施します。



(3) 情報の提供

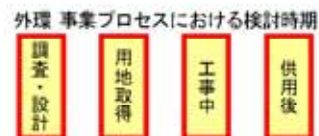
① 地域住民への十分な情報提供への期待

○これまでに頂いた意見

- 事業がどこまで進んでいるのかといった情報についても、きちんと情報提供してほしい。

(国、都)

- 地域のみなさまに検討状況や事業のスケジュールなどの具体的な情報をわかりやすく、できる限り速やかにお知らせします。



- 今後、国と東京都は世田谷区と協力し、地域の状況に即した課題の具体的な対策を検討していくにあたり、より一層、地域のみなさまへわかりやすく丁寧に説明するとともに、類似事業の事例などの見学を行うなど、情報が十分伝わるよう努めていきます。

